

日本クーベルタン委員会通信 (公開版)

創刊号 2024年11月26日

事務局：〒438-0043 静岡県磐田市大原 1572 番地 1

編集・発行

日本ピエール・ド・クーベルタン委員会

静岡産業大学スポーツ科学部スポーツ科学科 和所泰史 気付

発刊に寄せて

皆さま、日本ピエール・ド・クーベルタン委員会委員長に就任しました田原淳子です。このたび、記念すべき「日本クーベルタン委員会通信」創刊号が発行されました。本通信が本委員会に関わる情報伝達、会員相互の情報共有、また対外的な発信ツールの一つとしても有効に活用されることを期待しています。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンの名を冠した国際ピエール・ド・クーベルタン委員会 (CIPC) がスイスのローザンヌで設立されたのは、約 50 年前の 1975 年 1 月 19 日のことでした。CIPC はクーベルタンの業績と思想を維持し、分析し、普及することを目的にクーベルタン家の人々や IOC と密接な協力関係をもちながら多岐にわたる活動を展開してきました。

その CIPC から承認された日本を代表する国内ピエール・ド・クーベルタン委員会として日本ピエール・ド・クーベルタン委員会 (Comité Japonais Pierre de Coubertin : CJPC) が 2019 年 8 月 4 日に設立されました。創設時の会長は、クーベルタン研究の日本の第一人者であった故清水重勇先生がお務めになり、設立総会には全国から有志 17 人が中京大学名古屋キャンパスに集いました。しかしその後、ご承知のように数年間にわたるコロナ禍に見舞われ、組織的な活動が停滞を余儀なくされました。そこで、組織としての再出発を図るべく、創設時に本委員会に関わってくださった方々を中心に入会のお声がけをさせていただき、当初 30 名の会員登録がありました。その後 2024 年 3 月 30 日の第 1 回総会を経て、暫定運営委員 7 名 (建石真公子・中塚義実・来田享子・脇田泰子・和所泰史・和田浩一・田原淳子) により組織としての体裁を順次整えているところです。

クーベルタンはスポーツがもつ教育的な役割に着目し、オリンピックを通して社会をより良くし、異文化間の理解を促進することを目指しました。時代がいかに変わろうとも、その原点は不易です。一方で、クーベルタンの時代的限界を乗り越え、社会の変化に伴う挑戦も必要です。国内外には私たちと同じような志をもつ仲間がいます。国際的には CIPC や IOC オリンピック研究センター、パリにあるクーベルタン財団、クーベルタン家協会、諸外国のクーベルタン委員会等との連携が可能ですし、国内では日本オリンピック・アカデミーや JOC、東京 2020 大学連携レガシーネットワーク等との協力も可能でしょう。これらの団体との交流を視野に入れながら、CJPC が日本におけるクーベルタンとオリンピックの研究拠点となり、創出された知を教材開発やイベントに活用し発信していくことによって、オリンピックムーブメントを社会の様々なレベルで推進していく力になっていくことを願っています。

会員の皆様のご希望を反映した 3 つのワーキンググループ (研究交流、教育・ユースフォーラム、普及・連携) の活動に加えて、本通信は CJPC の活動を支えていく重要な役割の一つとなるでしょう。会員の皆様と共にこの通信を育てていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

ワーキンググループメンバー

以前にご回答いただいたワーキンググループ (WG) の活動希望調査から、表のようにメンバーが確定しました。

①研究交流、②教育・ユースフォーラム、③普及・連携の WG は担当者を含め 10~11 名、④事務局は 3 名となりました。登録の追加はいつでも受け付けておりますので、ご希望がございましたら事務局までご連絡下さい。

- ①研究交流 担当運営委員: 建石真公子、和田浩一
- ②教育・ユースフォーラム 担当運営委員: 中塚義実、來田享子
- ③普及・連携 担当運営委員: 田原淳子、脇田泰子
- ④事務局 担当運営委員: 和所泰史

ワーキンググループの活動予定

① 研究交流

ピエール・ド・クーベルタンやオリンピズムについての知識や考察を深めることを目的に、研究交流をしていきます。まずは、IOC World Library(<https://library.olympics.com>)に掲載されているクーベルタンに関するリファレンス (全 60 テーマ: クーベルタンの手紙などもあり興味深いです) やその他クーベルタンに関する本等からメンバーの関心のある資料を読み、ディスカッションを行う予定です。メンバーの都合にあわせてオンラインでの研究会も可能ですし、ゆるゆるとスタートしていきますので、クーベルタンやオリンピズムに関心のある方は是非ご参加下さい!

②教育・ユースフォーラム

2024 年 12 月 25 日 (水)、26 日 (木) に筑波大学附属高等学校と中京大学で開催予定です。全体テーマは「スポーツとジェンダー」で初日はオンライン、二日目はハイブリッドで実施する予定です。

③普及・連携

情報発信と会員間交流の機能を備えた本通信への会員執筆記事の掲載を準備します。次 (第 2) 号では、12 月開催予定のユースフォーラムの報告を中心に、パリ 2024 に関連したコラムなどを予定しています。

④事務局

10 月の臨時総会で会則の承認を得て、銀行口座の開設を行いました。引き続き、ホームページ作成と運営委員の選考手続きを行っていきます。

臨時総会(10月20日)

10月20日にオンラインで開催された臨時総会に17名の方にご出席いただき、7名の方が委任状を提出していただきました。臨時総会では会則(案)、運営委員会選考規程(案)が承認され、本会の設立時の代表役員として委員長が田原淳子暫定運営委員、第1副委員長が來田享子暫定運営委員、第2副委員長が中塚義実暫定運営委員で承認されました。

CJPC のロゴマークについて

CIPC のロゴマーク変更に伴う国内委員会のロゴマーク変更について検討してきました。その結果、CJPC の従来のロゴマーク(下図の中央)に使用されていたクーベルタンの画像から左側部分を削除し、枠を長方形から正方形に変更することでマークとしての汎用性を高めることにしました。この新しいロゴマーク(下図の右)は臨時総会で承認されました。



CIPC ロゴマーク



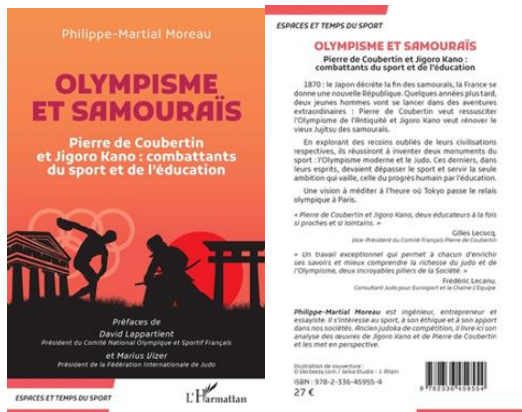
従来の CJPC ロゴマーク



新しい CJPC ロゴマーク

洋書の翻訳について

今年、パリ 2024 大会を前に Philippe Moreau 氏による『OLYMPISME ET SAMOURAÏ Pierre de Coubertin et Jigoro Kano : combattants du sport et de l'éducation』(『オリimpiズムとサムライ ピエール・ド・クーベルタンと嘉納治五郎:スポーツと教育の闘い』総ページ数 267)が出版されました。著者は和訳本の出版を望んでいることから、今後 CJPC の活動としてどのように関わることができるかを検討していきたいと考えています。



ユースフォーラムについて

国内 YF は、2015 年にはじめられた高校生対象のオリンピック教育事業です。2 年に一度開かれる国際 YF への派遣生徒選考会としてはじまりましたが、オリンピズムの普及と青少年の交流の場は重要だということで、2020 年までは筑波大学と中京大学の主催で毎年開かれ、2021 年から CJPC 主催となりました。教育・ユースフォーラム WG が関係諸機関と連携を図りながら、TOKYO2020 のレガシーの一つとして育ててまいります。会員の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

「日本ピエール・ド・クーベルタン・ユースフォーラム 2024」

開催日:2024 年 12 月 25 日(水)、26 日(木) 宿泊なし

開催形式:初日:オンライン、2 日目:対面(ハイブリッド)

会場:関東地区:筑波大学附属高等学校

中部地区:中京大学

対象:高校生および大学生(各地区 30 名程度)

参加費:無料

主催:日本ピエール・ド・クーベルタン委員会(CJPC)

共催:特定非営利活動法人日本オリンピック・アカデミー(JOA)

申込期間:2024 年 10 月 21 日(月)~12 月 13 日(金)

申込方法:必要書類を事務局までメールにてご提出ください。

前記のとおり、12 月 25 日にオンライン、26 日は筑波大学附属高校と中京大学での集合研修です。高校生だけでなく大学生も募集しています。10 月 21 日~12 月 13 日が申込期間です。CJPC 会員の皆さんも告知にご協力ください。

また都合のつく方のオブザーバー参加も大歓迎です!!

詳細や申し込みはユースフォーラム担当の中塚委員までご連絡のほどよろしくお願いたします。

研究報告

ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラムが若者の 社会資本の獲得に与える影響について

発表者 宮下由佳 (Fachhochschule Kufstein Tirol University, Sports, Culture & Events Management /M.A.)

日時 10月20日(土) 17時より

オンライン開催

本研究は、現代の若者に求められる社会資本の獲得に焦点を当て、オリンピック教育の一環として開催されるクーベルタン・ユースフォーラムが、その獲得にどのように寄与しているかを調査しました。社会資本とは、人間関係、互惠性、信頼、社会規範のネットワークによって生み出される、個人や集団の行動を促進するものと定義します。

研究方法は、クーベルタン・ユースフォーラムの主催者、参加者の引率者、運営関係者など、専門家12名に対して半構造化インタビューを行い、質的アプローチで調査を実施しました。インタビューで得られたデータをテーマごとに分析した結果、社会資本の獲得に影響を与える重要な要因として、「オリンピズムの体現」、「年齢の焦点化」、「多様性のある環境」、「プログラムの設定」、「対面式」、「スキルの拡張と習得」が明らかになりました。

本研究の結論として、クーベルタン・ユースフォーラムが若者のオープンマインド、順応性、好奇心を土台にして、既存のスキルを活用・拡張し、新しいスキルの獲得に役立っていることが示されました。加えて、クーベルタン・ユースフォーラムは、若者たちが将来経験することが予測される社会の縮図を体験する機会になっているとも言えます。本研究の成果は、クーベルタン・ユースフォーラムが参加者の社会資本の獲得をどのように支援しているのか、またどのようにすれば社会資本を獲得できるのかについての理解を深めるものです。

今後の研究への提案として、過去のクーベルタン・ユースフォーラム参加者への継続的な調査を行うことで、参加者と社会資本の経時的変化を分析することができます。

銀行口座について

木村華織会員のご尽力により銀行口座の開設に至りました。こちらの口座に会費3,000円の納入をお願いします。また、今後ホームページの作成を行うため、寄付金口座5,000円を募りたいと思います。ご協力のほどお願いいたします。

なお、領収書が必要な場合は宛名と郵送先を事務局までお知らせください。

銀行名：三菱 UFJ 銀行

支 店：豊田支店（店番 404）

預金種目：普通

口座番号：0831133

口座名：日本ピエール・ド・クーベルタン委員会 委員長 田原淳子

オリンピック研究国際学術誌『DIAGORAS』への投稿案内

オリンピック研究の国際学術誌『DIAGORAS』（オンライン）の編集者から、CJPC に投稿の案内がありました。お問合せなどがありましたら、事務局までご連絡ください。

募集テーマ："ESPORTS and OLYMPISM"に関するもの。Esports and new olympian trends など

投稿締め切り：2025 年 2 月 10 日

発行時期：2025 年 3 月（ギリシャでの IOC 総会后）

執筆要領：Submissions | [Diagoras: International Academic Journal on Olympic Studies](#)